

SPOT

屋上で小松菜を育てよう！

東葛西小学校



10月12日(木)、東葛西小学校で環境対策の一環として、「ココピスを使って小松菜を育てよう」という総合学習がスタートした。

東葛西小学校は文部科学省・経済産業省の推進する「エコ(環境にやさしい)スクール」のパイロットモデル事業の指定校で、屋上に太陽光発電機が取り付けられており、また雨水利用、屋上緑化などが行われている。

今回、江戸川区の桐井電設工業(株)と葛飾区の(株)山溪緑地から「ココピスグラス」150本が寄付され、それに3年生の生徒たちが小松菜を植え、屋上で育てることになった。「ココピスグラス」は排水性、耐久性に優れたヤシマットの上に、ヤシの実から取れるココピス、ヤシガラ炭、くん炭を敷いて成形した、土の代わりになる土台。土よりも軽いので重量制限があるマンション・ビルなどの屋上にも使える。

この小松菜は30～60日間で育ち、栄養士と相談しながら小松菜料理を作って食べたり、栄養について勉強したりと活用する予定だ。